

歴史文化学科

Department of History and Culture

学びの内容を
知るための

10

のポイント



POINT

01

歴史と文化、日本と世界を横断した学びに対応する
充実した教員構成をとっています。

歴史分野



野口 朋隆 (日本近世史)



松田 忍 (日本近現代史)



小二田 章 (東洋史)



湯上 良 (西洋史)



三原 昌巳 (人文地理学)



三野 行徳 (アーカイブズ学・日本近世史)



鶴岡 明美 (日本美術史)



永井 裕子 (西洋美術史)



大谷津 早苗 (民俗学・芸能史)



小泉 玲子 (日本考古学)

文化分野

客員教授

加藤 丈夫 (前国立公文書館長)

徳川 家広 (徳川記念財団理事長)

学びのイメージ

西洋美術史を研究している
3年 田中 純 さんの例



西洋史を専門的に学びたいと考え入学しましたが、1～2年生で様々な分野の授業をとり、今は西洋美術史の中でも画家マネなどに興味があります。歴史文化学科の良さは色々な視点からの学びを経て自分の専門分野を選べることだと思います。

歴史文化学科では、必修科目の「歴史文化基礎Ⅰ・Ⅱ」や基礎・調査法系科目、演習科目を中心に、生の史料(資料)と向き合ったり、グループワークの機会が多く用意されていたり、美術館や博物館に訪れる機会もあったりするため、専門的な学びに加えて鑑賞・観察をする力や議論する力を身につけることができました。3年生となった現在、これまで学んできた様々な分野の知識を活用しながら、西洋美術史の学びを卒業研究へと結実させていきます。



POINT

02

初めて学ぶ分野でも学問の基礎から知識と方法を習得する仕組みがあります。また複数分野をまたがって学ぶマルチディシプリンを実現する環境があります。

1年生～2年生

◎概論科目で各分野の基礎知識を習得

地域観光学概論
西洋美術史概論

1年生～2年生

◎基礎・調査法系科目で学問の方法論を習得

西洋美術史基礎
宗教文化史基礎
日本近現代史料解読

2年生～3年生

◎特論科目で研究の最先端を学ぶ

西洋史特論
西洋美術史特論

POINT

03

研究の基礎力を習得させる充実した学科必修授業がおかれています。

1年生～2年生

◎充実した必修授業で実践的な研究力を磨く

1年次 歴史文化基礎Ⅰ

2年次 歴史文化基礎Ⅱ

3年次 西洋美術史演習(ゼミ)

4年次 歴史文化演習(ゼミ)

卒業論文

【その他の修得科目—田中さんの場合】

日本近世史/日本近現代史/アメリカ史/日本女性史/
美術館論/ヨーロッパ建築史/西洋文化史 などその他多数

POINT

04

歴史文化に関わる選択科目が豊富に用意されており、組み合わせることで、学びの幅は大きく広がります。

POINT

05

3・4年次の少人数ゼミでは、卒業論文(必修)を執筆します。研究の過程で、社会で必要とされる調査力、分析力、プレゼン力、文章表現力などを身に付けて卒業します。



POINT

06

様々な資格を取得でき、MLA3資格も取れる
全国でも数少ない学科です。

【取得できる資格】歴史文化学科では下記の資格を取得することができます。

学芸員／考古調査士(2級)／高等学校教諭一種(地理・歴史、公民)／中学校教諭一種(社会)／
図書館司書・司書教諭／文書情報管理士(2級)／昭和女子大学認定アーキビスト(2級)／日本語
教員(大学認定証)／社会福祉主事(任用資格[※])
※任用資格とは公務員に採用された後、特定の業務に任用されるのに必要な資格です。



M 博物館 Museum

学芸員

【博物館資料のスペシャリスト】



L 図書館 Library

司書

【図書館資料のスペシャリスト】



A 文書館 Archive

アーキビスト

【記録資料のスペシャリスト】

POINT

07

専門の学びを実践力とつなげる
豊富なプロジェクトがあります。

プロジェクト名	担当教員	活動の概要
江戸幕府日記刊行会	野口朋隆	「江戸幕府日記」を翻刻し(くずし字を読み)刊行する。
井関隆子日記刊行会	野口朋隆	昭和女子大学附属図書館所蔵「井関隆子日記」の現代語訳をしていく。
戦後史史料を後世に伝えるプロジェクト	松田忍	被爆者運動の史料をはじめとした実物の歴史史料に触れ、分析・研究し、発表する活動。学術展示や雑誌への投稿など様々な研究発表の機会がある。
東京・日本橋地域×昭和女子大学SDGs TERAKOYA(寺子屋)プロジェクト	三原昌巳 太田鈴子	日本橋地域での環境や女性の活躍をテーマとし、持続可能な解決策を考案していく活動。
椎葉巡見プロジェクト	大谷津早苗	宮崎県椎葉村内の盆行事の民俗調査、椎葉神楽継承に向けての活動、調査報告書の発行。
中屋敷遺跡発掘調査	小泉玲子	神奈川県中屋敷遺跡(弥生時代前期)の発掘調査。準備・運営、調査後の整理作業、報告書の作成。

戦争という大きな流れ渦巻く社会の中で学生生活を過ごした、栗林一路さんの日記を読み、社会的存在としての成長過程に戦争が現れる過程を発見しました。また、出陣学徒壮行会当時の記述と、戦後50年の時期に振り返った記述を読むことで、一人の人間の中にある想いの移り変わりを認識するとともに、食生活にも注目することで、戦争の中にある日常を掘り下げて理解することができました。プロジェクトではメンバー同士の議論が重要で、日々多角的な視点に触れることができます。(3年 海老原万奈 さん)



「手で考え、足で見る」といったように、授業で学んだことを現場で活かすことができ、現場での作業により自分の技術も高めることができる部分が、中屋敷遺跡の発掘調査の大きな魅力であると感じています。また実際の調査の手法なども勉強会や現場で先輩方から教えていただくなど、学年を超えた繋がりを持つこともでき、そして先輩方や下級生と協力し、最後の埋め戻しが終わった瞬間はやりがいを感じ、とても充実した調査でした。(4年 大槻紗也夏 さん)



POINT

08

グローバルな環境で歴史文化の学びを実現する 留学プログラムがあります。

日本文化プログラム(昭和ボストン)

このプログラムでは、現地の先生と共に、ジョン万次郎と関係の深い場所を辿るツアーに参加したり、ボストン美術館やハーバード大学等の施設に訪れたりします。学芸員や教員、学生など多種多様な方と交流する機会もあり、様々な角度からボストンの歴史と文化を学ぶことができます。2週間英語に接することで、さらに英語を上達させたいと考えるようになりました。日本やアメリカに興味がある方は、語学に不安があっても是非参加していただきたいです！
(2年 齊藤汐里 さん)



ヨーロッパ歴史文化演習B

ヨーロッパの世界に飛び込み、「ホンモノ」を実体験しましょう！講義や演習でもヨーロッパの写真や映像に触れますが、現地の作品や街並みから受ける衝撃に圧倒されることでしょ。ヴェネツィアやフィレンツェ、ローマなどのイタリアの諸都市や田園地帯を訪問し、重厚な文化を支える裏側まで覗いてみましょう。イタリアの誇るアーカイブズも専門家の講義を通じて、現代への利活用を学べます。
(本演習担当教員 湯上 良)



POINT

09

学科独自の充実した キャリア支援プログラムがあります。

キャリアを見据えた4年間をサポートする仕組み

歴史文化学科(歴史)に入学した皆さんには、卒業後のキャリア形成を見据えた4年間の過ごし方を示した「歴史文生の4年間」が配付されます。これには、卒業論文の完成と卒業後のキャリア形成を見据えて、各学年でなすべきことの指針が示されています。またキャリア科目「歴史文化と社会Ⅰ」や「2年生(3年生)の過ごし方講座」では学びの段階に応じたキャリア支援があります。2014年度から連続で歴史文化学科から教員を輩出していることもその成果の一つです。



2年生必修科目 デジタル情報論

歴史や文化の研究に必須なデジタル情報やデジタルアーカイブ、デジタルミュージアムについて学ぶ科目。研究の土台にも、これからのキャリアや生活にも活かれます。



POINT

10

みなさんの目標となる 素敵な先輩や卒業生がたくさんいます。

歴史文化学科は好奇心旺盛な私にとってこの上なく素晴らしい学び舎でした。プロジェクト活動から資格の取得まで、歴史文化学科ではやりたいと思ったことを全て行動に移すことができます。たとえ「歴史や文化が好き」という漠然とした思いで入学したとしても、必ず自分の興味のある分野を見つけることができます。実際、私自身も西洋美術史を学びたいと思って入学したけれど、人文地理学の魅力にはまってしまった一人です。高校生の頃はまさか自分が地理学に興味を持つなんて思ってもみませんでした。様々な観点から歴史文化にアプローチしたい、大学時代は多くのことに挑戦したいと考えている方にはぴったりの学科だと思います。
(4年 大城美月 さん)



入学前から古文書を読んでみたいと思っており、授業に加えて3年次からは、『江戸幕府日記』という古文書を活字に起こして刊行をめざすプロジェクトに参加し、古文書を解読するスキルを身につけました。プロジェクトの活動や卒業論文の執筆を進めるなかで、もっと学びを深めたいと思い、大学院に進学しました。また歴史文化学科では、自分の興味に合わせて幅広い分野の授業を受けたり、学芸員等の資格の取得を目指したりすることもできます。分野をまたいで様々な視点から学ぶことも、興味のあることを突き詰めて深く学ぶこともできるのが、この学科の魅力だと思います。
(卒業生・大学院生活機構研究科 修士2年 松下奈々美 さん)



学科の最新の活動は、歴史文化学科ホームページや学科ブログでも紹介しています。



● 歴史文化学科HP

<https://univ.swu.ac.jp/faculty/university/culture/rekibun/>



● 学科ブログ

<https://content.swu.ac.jp/rekibun-blog/>



● オープンキャンパス情報

https://exam.swu.ac.jp/campus/c_ocan/department/culture#p02

昭和女子大学 人間文化学部 歴史文化学科

〒154-8533 東京都世田谷区太子堂1-7-57 Tel.03-3411-5154(アドミッションセンター) e-mail:spass@swu.ac.jp

Showa Women's University

1-7-57 Taishido, Setagaya-ku, Tokyo 154-8533, Japan Tel 81-(0)3-3411-5154(Admission Center)

2023年6月(通号:24号)